

2006年 第1回 IEEE 福岡支部理事会議事録 (Minutes)

日 時：平成18年1月30日(月)12:00~16:00

場 所：(財)九州システム情報技術研究所 (ISIT)

出席者

支部役員： 二宮、宇津宮、末次、田口、高良、村尾、庄山、牧之内

事務局： 川根、牛島好美

(以上、10名)

議 題：

1. 前回議事録の承認(末次) ExC2006-1-1,1-2
すでにメールで稟議されており、多少の文言の訂正を除いて大筋承認された。「電気関係学会九州支部連合大会との連携」という表現は間違いであり、正しくは「電気関係学会九州支部連合会への加盟」である。
2. Japan Council理事会報告(二宮) ExC2006-1-3
8月3日の第2回JC理事会と12月13日の第3回JC理事会の報告がなされた。IEEE Japan設立へ向けてIEEE本部のLong Term Strategy Committeeで審議が行われている。IEEE JapanとJapan Councilを併設する案が進められている。福岡支部理事会メンバーのメール審議で出たIEEE Japanから脱退する可能性を残すべきという意見も意見として提出した。東京支部50周年記念セレモニーの実行委員会に二宮支部長が委員として加わった。東京支部がもともと日本支部だったころから数えて50周年なので全国の支部で分担する。
3. Section Congress報告(末次) ExC2006-1-4,1-5,1-6
2005年10月14日から17日までフロリダ州タンパで行われたSection Congressの報告がなされた。会議ではCore Trackという全員参加のチュートリアルセッションとBreakout Sessionという分野ごとのチュートリアルセッションが行われ、最後にRecommendation会議というIEEEの活動方針を決める投票が行われ閉幕した。Section Congressに引き続いて行われたR10 Meetingの報告も行われた。R10 Meetingでは会員増加の大きかったセクションの表彰、R10から支援費を受け取ったセクションの活動報告、次回R10 Meeting(タイ王国チェンマイ)の紹介、次期R10 Directorの立候補の募集が行われた。Core Trackでの講義により、現在ではSectionのBylawsは廃止されRAB Operation ManualをSectionの規則として用いるようになっていたことが判明した。そこで末次庶務幹事よりBylawsを廃止し、代わりにAddendumを制定するように提案があった。しかし、JCではそのような話は全く出てきておらず、次回JC理事会に参加したときに事実関係を

確認することとなった。次回R10 Meetingには二宮支部長は所用により出席できないため、代わりに宇津宮副支部長に参加を打診した。

- 4 . 事業計画案および予算について（末次、事務局）ExC2006-1-8
2006年活動計画、事務局により予算および決算が説明された。前年と違う点は、学生研究奨励賞のためのセクション支援費を10万円から15万円に増額すること。九州支部連合会への加盟により18万円の負担金の支出が見込まれることである。それ以外には、予算は学生研究奨励賞予算を20万円に増額し、Section congressの旅費補助を末次分500ドル相当を見込むこと、新設のAPチャプターへの送金分だけチャプター送金額が増えることが見込まれた。但し、セクションのイベント数が10回を越え、チャプター数が1個増加したことにより来年度Rebate額は増額されると見込まれる。
- 5 . 2005年支部活動状況及び会員数の報告（事務局、末次）ExC2006-1-9,1-10,1-11
支部会員数は1月15日でActive 692人、前年3月15日段階の688人より増加している。毎年4月になると15%程度会員数が減少するが、次第に回復し年末には前年並みになる。Fellowの人数は11人、Seniorの人数は27人でほとんど変化が無かった。Student Memberは熊本大が34人、九工大が13人でStudent branchを九工大に作るにはStudent memberが足りない。（Student Branchを設立するにはStudent member 20名以上のpetitionが必要。）
- 6 . 福岡支部学生研究奨励賞について（庄山）ExC2006-1-12
学生研究奨励賞の審査結果について説明があった。応募数は28件で例年並みであった。審査の結果10件が表彰と決定された。年度表示については支部長と庄山学生担当の間で検討を加えた結果、新しい年度表示が決定された。Web上の過去の発表分についても非常に表示が混乱しているため、新しい表示で統一して欲しい。
- 7 . 広告規定について（末次）ExC2006-1-13,1-14,1-15
某団体より求人広告の依頼があったのを機に福岡支部で広告規程の案を作成した。IEEE Advertising and Linkage GuidelinesとIEEE本部のWebサイトの広告料金を参考に作成された。IEEE本部のWebサイトは月間アクセスが200万件に対して、福岡支部は月間358件で桁違いにスケールが違うため、単純に比例計算すると掲載料1月数百円となるため、テキスト広告6ヶ月で1万円という料金を設定した。JCの各セクションではこのような広告規程は未だ制定されておらず、福岡支部が制定すればそれを参考にしたいそうである。しかし、支部独自の収入を得ることに対して税制上の問題、IEEE規程上の問題が無いが万全を期したほうが良いため、改めてIEEE本部のしかるべき部署に、このような規程を制定することの可否を確認することとなった。
- 8 . Woman in Engineering Japanの福岡支部ディレクタについて（末次）ExC2006-1-16
昨年7月26日愛媛大学松永真由美先生よりWIEの九州地区ディレクタを推薦して欲しいという依頼があった。検討を行った結果、九産大講師の松岡剛氏が適任であると判断し、本人からも承諾を得たので支部として推薦することとした。現在福岡支部にWIE会員は5名いて内4名が学生である。福岡支部内の女性会員は20名で内WIE会員は3名であ

る。現在愛媛大学松永先生が中国と四国地区のディレクターを兼任していて、九州地区はディレクター不在であるため当面の間九州地区も兼任をお願いしている。なお福岡支部内にWIE Affinity Groupを立ち上げるにはStudentを除くWIE会員6名以上からなるPetitionを提出する必要がある。

9 . 新しい福岡支部ホームページの紹介（末次）ExC2006-1-17

新しいホームページのデザインが紹介された。現在のホームページは支部設立当時に作られたもので付け足しを重ねてわかりにくくなっている。正式なMaster Brand Imageを入手して、全体として水色と白を基調としたデザインとした。英語のページを作りたい。どこからでもTOPページに戻れるようなリンクを作りたい。

10 . 電気関係学会九州支部連合会への加盟について（二宮）

9月21日連合会役員会において加入希望を提出した。Aグループ（電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会）は負担金18万円、Bグループは負担金3万円である。AグループとBグループの負担金の差が大きい。これは、Aグループは会員数千人規模であるのに対して、Bグループは2-300人規模であるからであるが、当支部は600人程度で中間ぐらいである。そのため、どのような負担金になるかについては、まだ不透明である。今後は5月の役員会で我々の加入に対する各学会の回答が寄せられ、9月の大会にはほぼ間違いなく参加することになるだろう。

11 . Victoriaセクションとの姉妹支部締結断念の経緯について（牧之内）

Victoria SectionではVictoria大学と共催でPacific Rim Conferenceという国際会議を開いている。これをKyushuとVictoriaで隔年開催して姉妹支部も締結することを希望していたが、すでにBritish Columbia大とVictoria大で隔年開催されていたため不可能となった。我々は、この件にとどまらず国際学会の九州支部として九州の国際化を進めるような活動を進めるべきだろう。例えば、連合会でアジアシンポジウムを開催するといった活動があってもよいだろう。

12 . 次回の理事会について

次回理事会は6月中旬から7月上旬。詳しい日程は改めて調整する。